

経済・財政と暮らしの指標 「見える化」データベースの リニューアル方針

2025年7月

目次

1 はじめに	3
1.1 リニューアルの基本方針	4
1.2 利用者からの要望と対応範囲	5
1.3 主要なリニューアルの内容	6
要望の抜粋	8
3 おわりに	13

1 はじめに

経済・財政と暮らしの指標「見える化」ポータルサイトでは、内閣府が関係府省庁との連携体制のもと、経済・財政と暮らしに関する重要指標やデータを整備しているデータベースと見える化ツールを提供しています。データのダウンロード、地域類型化ツールも備え、地域の差異、行政改革の課題、成果の有無を見える化することで、政策立案のための分析や検証を支援しています。

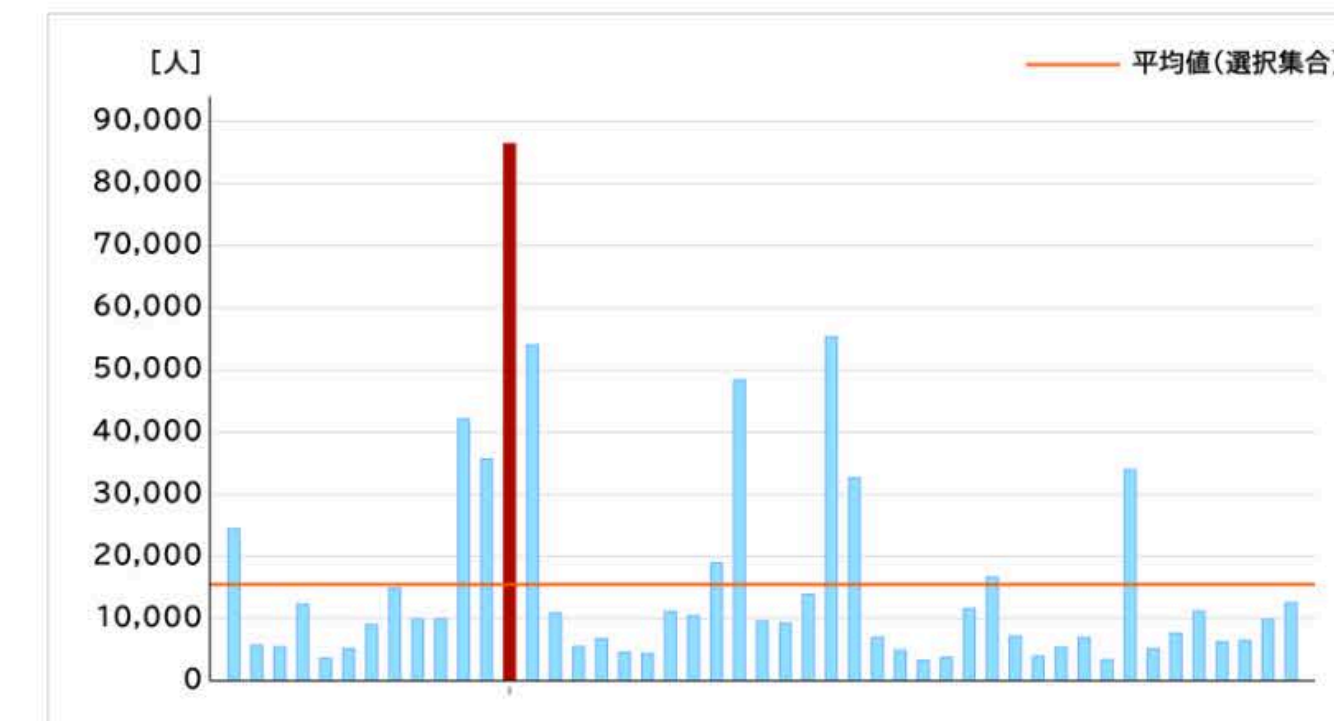
この度、利用者からの要望を受け、「見える化」ポータルサイトの操作性の向上と機能の拡充し、Japan Dashboard（経済・財政・人口と暮らしに関するダッシュボード）としてリニューアルしました。

本資料では、「見える化」ポータルサイトのリニューアル範囲、利用者の要望と対応の内容について紹介しています。

[内閣府 経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース](#)

グラフ

平均値（選択集合）は、「比較する自治体」で選択した自治体の値の合計を、選択した自治体の数で単純に割った数値を示しています。平均値（全国）は、元となる統計調査等から引用した全国平均を示しています。「比較する自治体」で「全国」を選択しても、集録データの種類によっては、これらが一致しないことがあります。



スケールの変更

縦軸のスケールを変更できます。目盛の表示間隔と数を半角数値で指定します。0を基準としてプラス方向とマイナス方向に表示したい目盛の個数を指定します。実行ボタンを押すと指定したパラメーターでグラフを再描画します。最初のスケール表示に戻すにはリセットボタンを押します。

目盛の表示間隔	10000	プラス方向の目盛数	9	マイナス方向の目盛数	0
実行		リセット			

内閣府 経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース

1.1 リニューアルの基本方針

今回のリニューアルでは、既存のポータルサイトの長所と資産を活かしながらも、利用者から寄せられた声を反映し、特に操作性の向上と機能の拡充に伴うユーザーエクスペリエンス（UX）の改善に重点を置いています*1。新しい見える化ツールであるJapan Dashboard（経済・財政・人口と暮らしに関するダッシュボード）は、より直感的で使いやすいダッシュボード形式を採用し、誰もが必要な情報に迅速にアクセスできる仕組みを目指しています。

利用者からの主要要望

1. 操作に学習が必要
2. 時系列での比較を行いたい
3. 複数指標の選択ができない
4. 指標の検索性が低い
5. 簡単なデータダウンロード操作等



リニューアルの方向性

1. 操作性とデザインの改善
2. 時系列分析への対応
3. 複数指標の分析
4. 指標の一覧性・検索性の向上
5. ダウンロード機能の改善等を中心に検討

*1：第52回 経済・財政一体改革推進委員会

1.2 利用者からの要望と対応範囲

利用者からの要望*2を整理し、2025年7月のリニューアルでは、特に要望の多い操作性、機能拡充、およびUXの改善を中心に対応しています。

コンセプトへの要望	UI/UXへの要望		データへの要望
ユースケースが不明瞭	データベースの理解に時間がかかる	比較結果に不足情報がある	最新データの掲載時期を早めてほしい
利用できる機会が少ない	操作に一定の学習コストがかかる	結果データの出典記載がない	データ拡充の余地がある
データに優先度がない	反復操作が発生している	結果データをダウンロードしたい	データ分析するにはデータ量が不足している
決算カードやその他システムで事足りている	条件設定や検索に手間がかかる	データの読み解き方がわからない	データの更新時期を明示してほしい
他データベースとの棲み分けや連携がわからない	複数の指標が選択できない	比較条件項目が不足している	
2025年7月時点のリニューアルで対応	経年でのデータの利用ができない		
	未対応		

1.3 主要なリニューアルの内容（1/2）

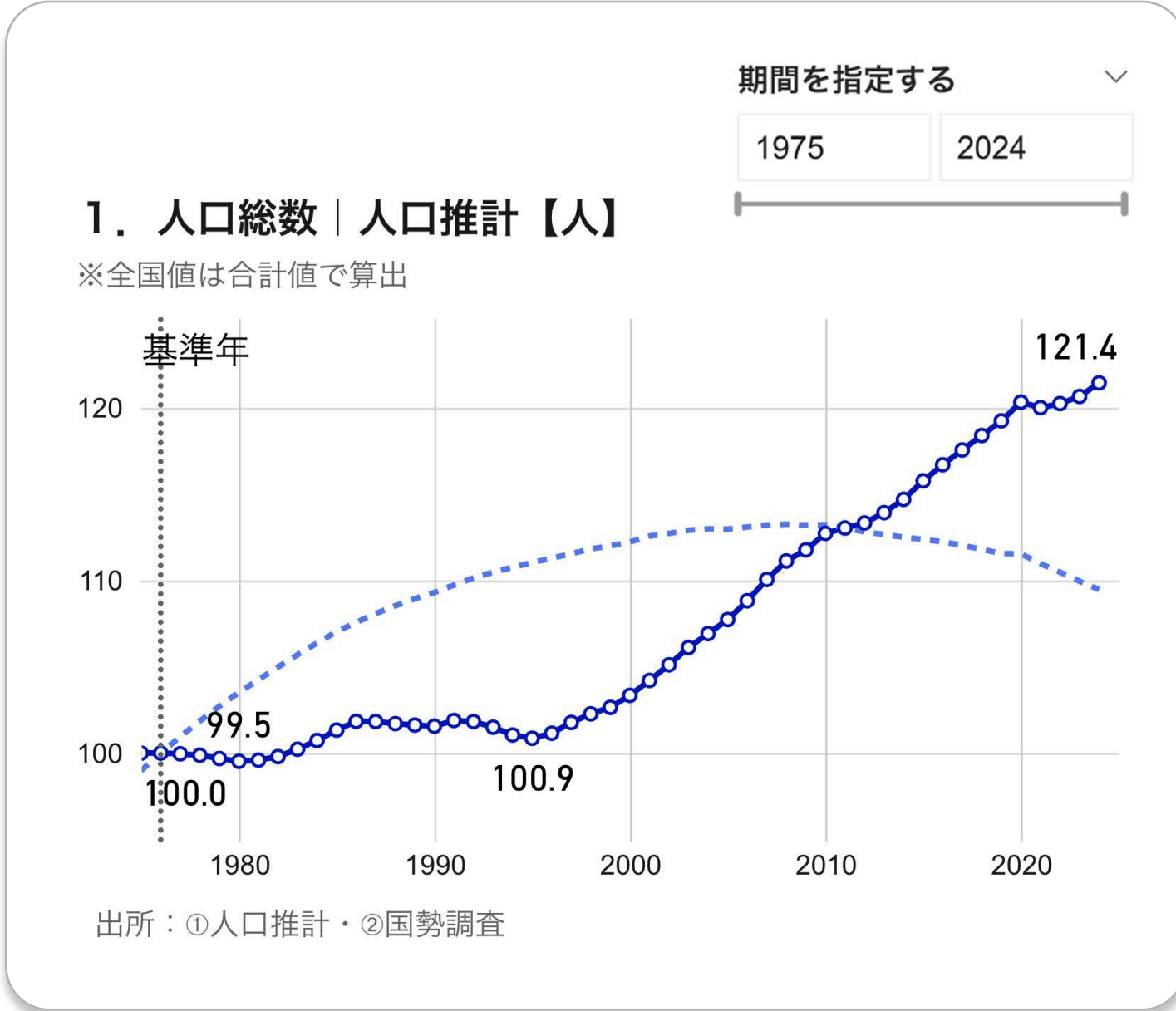
1. ワンクリックで素早く指標を切り替えながら数値を確認できる

指標を選択するエリアと結果を表示するエリアが1ページで完結。指標の項目を選択したら、即時に結果を確認できるので、利用者は画面遷移やスクロール等の操作なしでデータを閲覧できます。



2. 経年でのデータを確認できる

単年度でかつ都道府県の横並び比較しかできなかった部分をリニューアル。特定の都道府県の経年データや、全国値や任意の他団体との比較、実数値だけでなく基準年比での比較も可能にしています。



3. 分野をまたがる複数指標を横並びで確認できる

1つのページ内で分類を跨いだ複数の指標を自由に設定できます。そのため、分析したい指標を横並びで配置し、それぞれの数値の傾向を見比べることができます。



1.3 主要なリニューアルの内容（2/2）

4. 地図、散布図等の多様な可視化で 多様な角度からの分析ができる

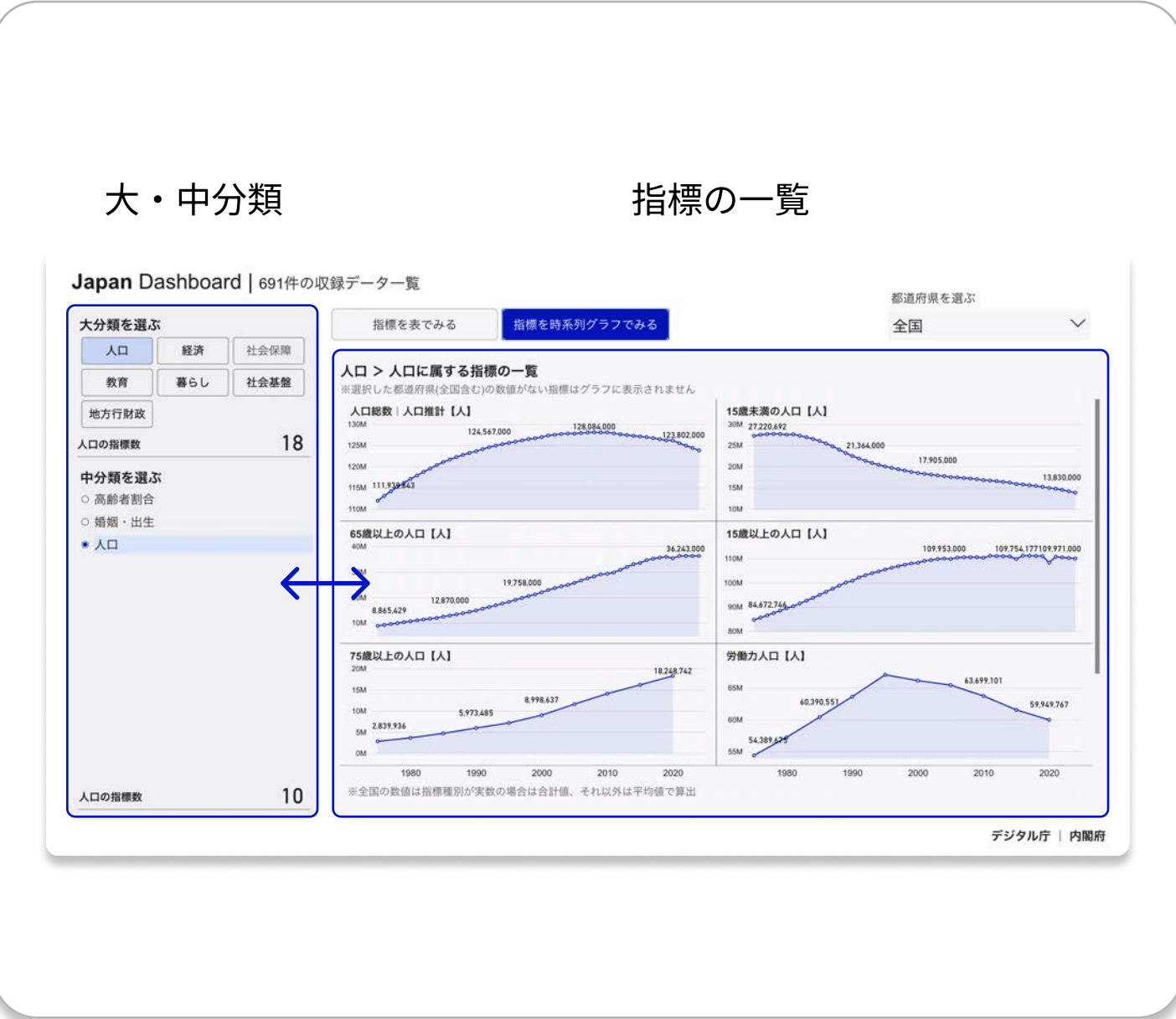
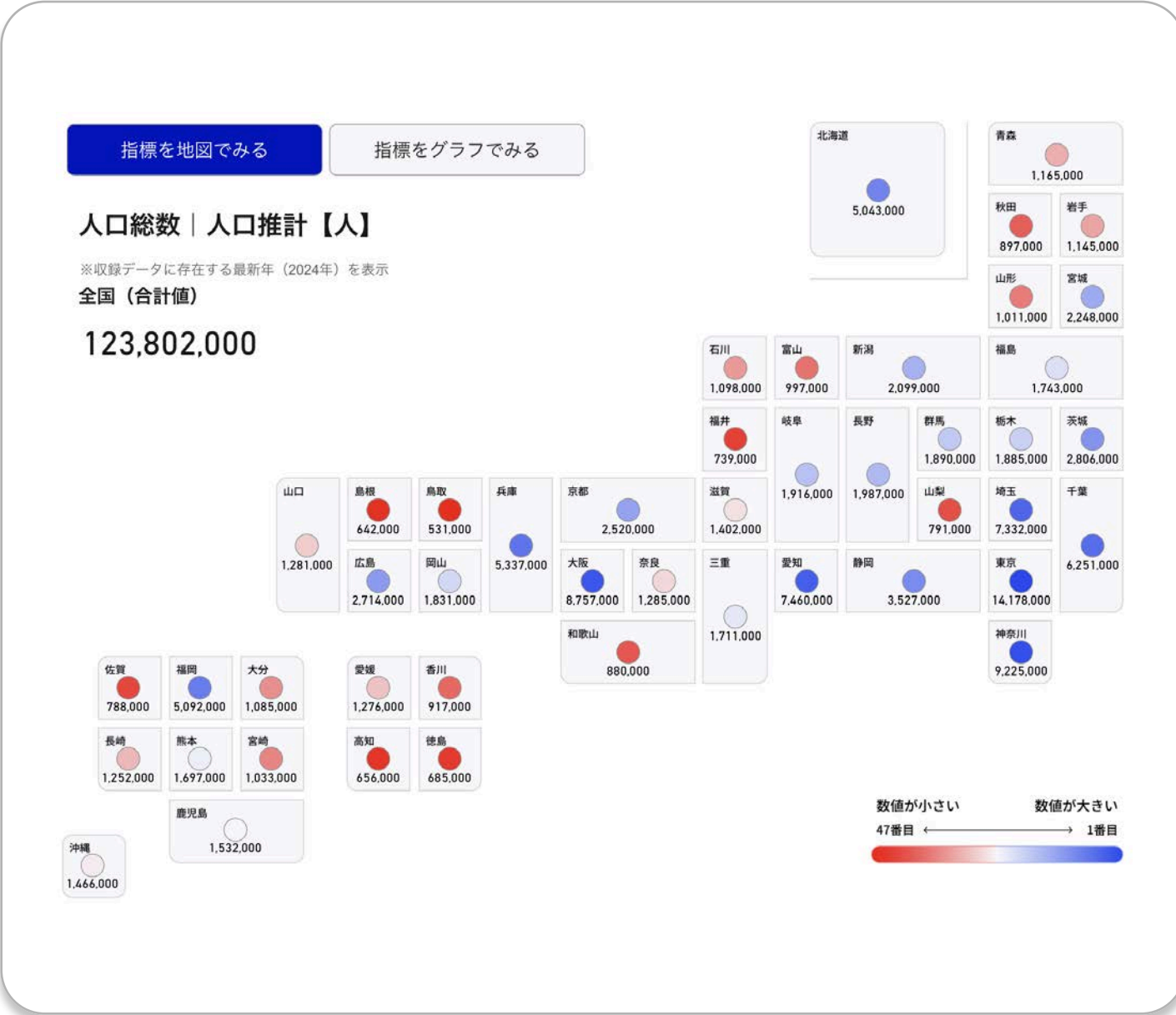
1つの指標の時系列変化や特定年度からの増加率、都道府県ごとの数値の比較、2つの指標の相関関係等、利用者が多角的な視点で指標を分析するための機能を追加しています。

5. 収録されているデータの特徴や 出典を簡単に把握できる

何百もの指標から、深掘って分析したい指標の目星をつけるために、指標の特徴を簡単に把握できる機能を提供。時系列での変化の傾向や、出典を簡単に理解できる。

6. データを簡単にコピー&ペースト、 一括ダウンロードできる

データベースに収録されているデータを、コピー&ペースト、または一括ダウンロードするための機能を提供しています。必要なデータをすぐに手元で分析できます。



利用者からの 要望（抜粋）

コンセプトへの要望

UI/UXへの要望

データへの要望

見える化ポータル課題_コンセプトへの要望

ユースケースが不明瞭

- どのような視点で、何を比較したいかということを明確にして使用していかないといけない
- データ量が膨大であり、何の指数を何のために用いて比較するのか、各自治体が活用意義を明確化していないと、ただのデータ集
- 何のための数値化なのかが重要。小規模自治体では、尚更のこと活用の糸口が見いだせない

決算カードやその他システムで事足りている

- 決算カードや類似団体カード等で確認が出来ている内容もあり、特段の必要性は感じなかった
- 通常の業務で、国からの照会は、地方財政決算情報管理システムのデータを活用するため、類似団体比較などはそちらの方が利用しやすい
- 各団体との比較については、産業構造や人口等が同型の近隣自治体との比較を行っており、主に、決算カードを用いている。そのため、全国的な比較検証は行っておらず、現状、あまり活用する機会がない

利用できる機会が少ない

- 日々の業務の中では、当該情報を活用する機会が限定されており、年間を通じて数回程度
- 地方行財政について、ある事業を実施した場合、改善策のための参考情報が明示されており、大変参考になった。このような参考情報がもう少し拡充していただければ、利用回数は増える

他データベースとの棲み分けや連携がわからない

- 経営比較分析表などの各種類似団体の数値を使用する調査などと連動されるとなお良い
- 日常業務で使用するのは主にestatであるため、こちらか、estatかどちらかに集約して見える化をするようにしてくれると使いやすい
- 他のサイトで統計などのデータも公開されているが、ひとつのでDBに統合できないか、ご検討いただきたい。データによりサイトを使い分ける煩雑さ

データに優先度がない

- 検索数の大きい分野、情報についてはワンクリックで検索できるボタンやメニューがあるとよい
- 見える化の活用例などを10パターンくらい掲載されると、より活用イメージが想像しやすくなると思う
- 膨大な情報があるがゆえに、必要な情報にたどり着くまでに少し手間がかかるため、検索頻度が高いものは、あらかじめデータ化されアクセスしやすくなっているとよい
- 主要な指標のみ見える化し、個別の項目については生データ展開のほうが活用がしやすい

見える化ポータル課題_UI/UXへの要望（1/2）

データベースの理解に時間がかかる

- 自分の調べたい項目がどの分類に属しているのかなど、探すのがなかなか難しいと感じました。PDFの一覧表についても小さく、確認が難しいと思います
- 必要な項目が含まれているかどうかが不明なため、実際に利用する際に躊躇する可能性があります。どの項目含まれているかを明示し、職員間の認知度を高めることが重要と考えます。
- どのようなデータが得られるか知らなかったため、必要な時にアクセスしようと考えにくい

操作に一定の学習コストがかかる

- 簡易的な使い方マニュアルなどあれば、日常的に利用できるようになると感じます
- 手順を見ながら操作したが、なかなか思うとおりにいかなかった
- うまく活用するためには、一定程度の知識を有することが前提となる。その「一定程度」ぶりを小さくしていただければ、経験年数の浅い職員等にも活用が広がると思います
- 視覚的・直感的な操作ができるよう改善の余地があると感じた

反復操作が発生している

- ピンポイントの項目しか選択できないようなので、何回も検索しなければならないのが不便
- 最初に選択した条件等を変更するときに、グラフが表示されたページ上で変更できると良い。前のページに戻らないと変更できないのは使用しづらい
- 表示項目を変更する場合（例えば人件費→物件費→…と次々に比較したい場合）は、画面遷移をいちいちしなければいけないこと、毎回画面スクロールをさせなければいけない点に使いにくさを感じた

条件設定や検索に手間がかかる

- 検索を簡単にしてもらいたい
- 選択タブが多く、自分の調査目的と合致するまでに時間がかかる
- 調べたい項目を探すのが少し手間だったので、検索がもっと簡易的であれば使いやすい
- データを探すのに時間がかかる
- 細かく検索しても検索したい情報が出ないときがある

複数の指標が選択できない

- 条件選択が細分化されているため複数の関連指標を一覧で見ることができない
- カテゴリが多いため個別に選択し表示しなければならないので、一度に複数（5～10ぐらい）のカテゴリを選択し表示できれば良い
- 複数の情報を一度の検索で見れないため、少し操作のしづらさを感じた。

経年でのデータの利用ができない

- 比較団体の平均値を経年で比較できるような条件設定やグラフの出力ができるようになってほしい
- 同じ項目で前年度を表示したいときに、再度入力フォームからの入力が必要となる場所
- 複数の年度、項目が一度に見れるようになれば、さらに活用しやすいと思われます
- 基本的に最新のデータが前々年度決算となり、情報の鮮度があまり高くないため、他市との比較だけでなく一つの自治体の複数ヵ年比較が見える化することで傾向等を掴めるようになると良い

見える化ポータル課題_UI/UXへの要望（2/2）

比較結果に不足情報がある

- グラフ上に自治体名や数値等の情報がないため、それぞれに参照しなければならないため、ひとまとまりになっていると参考にしやすい
- グラフにした際に自治体名が表示されないので、マウスでなぞるか、値一覧を確認する必要がある
- グラフの表示幅（横幅）を変更できるようにしてほしい

データの読み解き方がわからない

- 視覚化されたものを見ても「どういう意図・意味があるのか」は読み取れませんでした
- 一般論でもいいので、結果から得られる状態のようなもの（〇〇に対して△△が高く、これは××の状態にあると言える、等）があれば、財政経験が浅い職員も活用しやすいと感じた
- 「ダッシュボード」などの要約（複数指標の同時表示）機能があればありがたいなと思いました

結果データの出典記載がない

- 「見える化」するボタンを押した後に出力される統計データの出典を記載してほしい。出典の記載がないデータでは活用しづらい
- 利用者としては、どのデータと数字が一致しているのかを把握した上で活用することになると思うので、引用元が明記してあると、より使いやすいのではないかと思います

比較条件項目が不足している

- 自治体の規模の絞り込みを細分化
- 人口規模の項目の条件が少なくなったり、うまく検索に反映されないことがある
- 人口5万人未満より更に少ない市の人口規模（町村と同程度の区分）
- 自治体の規模で絞り込む」の人口の下限が100万人未満であり、当町と同規模の自治体がうまく出てこなかったため、積極的に使いたいとは思わない

結果データ・チャートのダウンロードをしたい

- グラフをデータ化し、ダウンロードが可能であり、「見える化」項目をワンクリックで全て選択できれば、さらに利便性が向上するものと思われます
- グラフをエクスポートできると資料作成の際に手軽に使えるように思われる
- グラフイメージのダウンロードなどが簡単にできると資料として使いやすいと思う

見える化ポータル課題_データへの要望

最新データの掲載時期を早めてほしい

- 最新データじゃないので使いづらい
- 最新データの掲載時期がもう少し早まるとありがたい
- 掲載データの速やかな更新
- 最新情報の反映が遅い
- 前々年度の決算情報が最新となっているため、直近の決算年度で比較することができない

データの更新時期を明示してほしい

- 調査年の更新が毎年いつ頃行われるのかが気になった
- 調べたい年について、直近データが例年はいつ頃更新されるのか、集録データ一覧等で明示されると、活用しやすいです

データ拡充の余地がある

- 結局用途に使用できるようなデータは無かった
- 市区町村データの追加
- 市区町村のデータ量が全体的に少ないので、都道府県並みに拡充してほしい
- 人口分野の市区町村データが、都道府県データに比べて少ないので追加してほしい
- 財政は県行政だけでなく、市区町村まで拡充していただくと活用の幅が広がるかと思う

データ分析するにはデータ量が不足している

- 大きいくくりの比較はできるものの、実際には各市町ごとに置かれる状況が異なることから、真に分析するには情報量が足りない
- 国民個人や民間企業がおおまかな傾向をつかむのには適しているかもしれないが、自治体で活用する場合は個別の統計資料の方が使いやすいと感じた

2 おわりに

Japan Dashboard（経済・財政・人口と暮らしに関するダッシュボード）は、今後も利用者の要望やニーズに合わせてアップデートしていきます。ダッシュボードを利用いただき、お気づきになった改善点や要望があればお気軽にご相談ください。

お問い合わせの例

- ○○というデータも見れるようにしてほしい
- 市区町村、準公共領域の事業者単位で見れるようにしてほしい
- ○○という分析機能も追加してほしい

お問い合わせ先

内閣府のウェブサイトのお問い合わせよりご連絡ください。

[内閣府のウェブサイトから問い合わせする](#)

